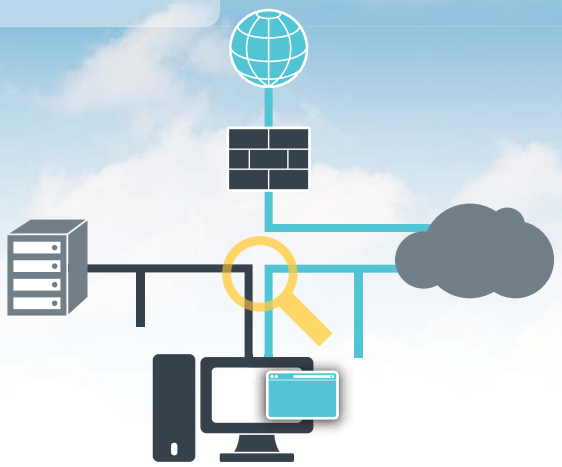
NTT Communications
Transform. Transcend.

ICT BUSINESS ONLINE

デスクトップ仮想化

Enterprise DaaS

[Web分離対策]



これまでのセキュリティ対策で大丈夫!?

実行環境は、分離する時代へ

自社におけるリスクをチェックシートで確認してみましょう。

対策	懸念点
☐ ① ウイルス対策ソフトを導入し、適切に運用している	昨今の標的型攻撃などでは、ウイルス対策ソフトでは検知することができない"未知"のマルウェアが使われることが多い。
☐ ② アクセスできる Web サイトを制限する、Web フィルタリングを導入している	マルウェアに感染するリスクのあるWebサイトをリストに登録する必要があるが、そうしたサイトは次々と作られるため、更新作業が追いつかない。
☐ ③ UTM などを利用し、インターネットと社内ネットワークの境界でウイルスチェックを行っている	ウイルス対策ソフトと同様、未知のマルウェアは検知できない可能性が高い。
☐ ④ 未知のマルウェアを検知できる、サンドボックスと呼ばれる製品を導入している	未知のマルウェアを検知できるソリューションとして認知されているが、リアルタイムにマルウェアを検知できないほか、サンドボックスを回避する仕組みを持つマルウェアも登場している。
☐ ⑤ プロキシや IDS ／ IPS を利用し、不正が疑われる外部への通信を遮断している	マルウェア感染後の出口対策としては有効だが、マルウェアの感染を防ぐことはできない。
☐ ⑥ インターネットに接続しているパソコンと業務システムのパソコンを分けている	Web閲覧用と社内業務システム用のPCを分けていないと、社内の業務システムなどへのマルウェア侵入を阻止できず、機密情報が漏えいする可能性がある。
☐ ⑦ マルウェアに感染しても、社内ネットワークを経由してほかのパソコンや業務システムに被害が広がらないように対策を実施している	感染したPCが、業務ネットワークとつながっていると、マルウェアが広範囲に広がる可能性がある。

一般的に有効とされる①～⑤の対策をすべて施しても、⑥～⑦の対策次第では、マルウェアを排除できるとは限りません。
そこで、 社内業務システムへの回線と、外部インターネットへアクセスする回線を

物理的に分離する必要があります。

Point

Web分離を実現する「Enterprise DaaS」が有効です

Enterprise DaaSを導入することで、企業はセキュアで柔軟性のある業務環境を構築することができます。

「Web分離」で解決

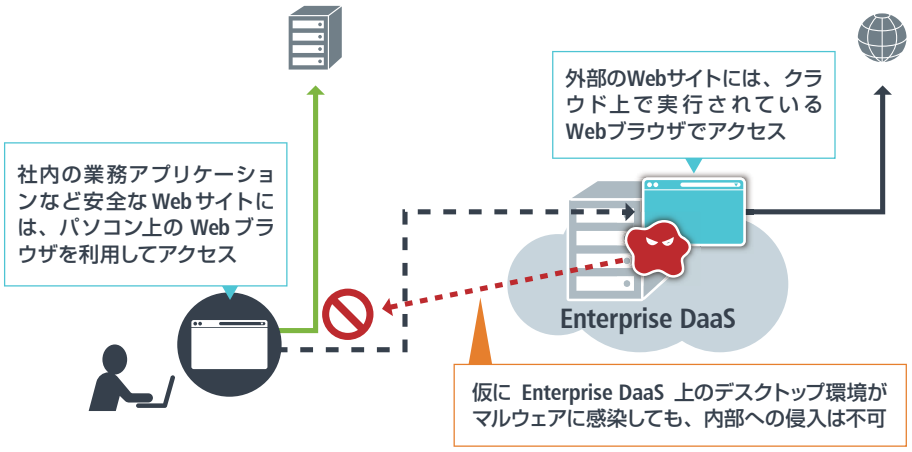
デスクトップ仮想化
Enterprise DaaS

Web分離の目的

インターネット接続を業務端末と分離することで データが外部流出するリスクを軽減します

導入の効果

- アプリケーション仮想化技術を活用してブラウザ環境を仮想化することにより、Web閲覧のインターネットアクセスをシステムと分離
- メール経由やUSB経由などでPCがマルウェアに感染した場合でも、PCとインターネット環境が分離されているため、Web経由で外部と通信し、情報漏えいするリスクを減らします。

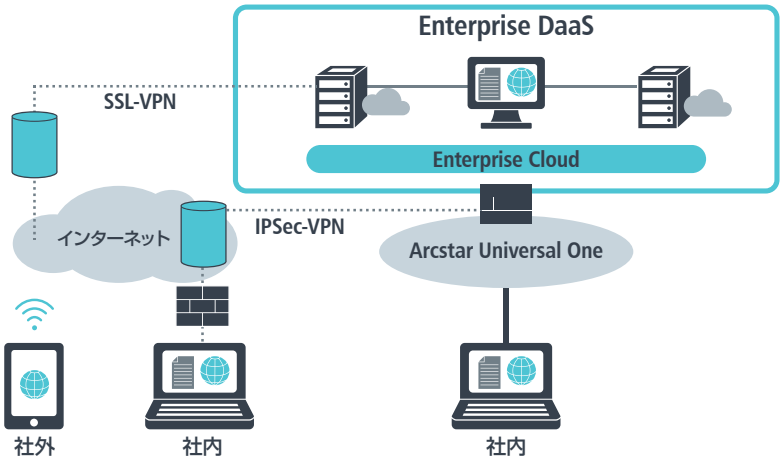


Enterprise DaaSを導入することで、企業はセキュアで柔軟性のある業務環境を構築することができます。

Enterprise DaaSのメリット

資産を持たず、無駄なコストをかけずにVDIの導入を実現 ハードウェアの調達が不要なので、導入までのリードタイムを大幅に削減可能

安価な月額費用で、仮想デスクトップサービスを利用したいお客様におすすめ。Web分離などにより、特定のアプリケーションのみをセキュアに利用できます。



Enterprise DaaSに関するお問い合わせ先

NTTコミュニケーションズ株式会社

0120-106107 受付時間 9:30～17:00

※携帯電話、PHSからもご利用になれます。土・日・祝日・年末年始は休業とさせていただきます。

2017.11